



Route Romantique San'in

えん  
縁の道—山陰—

平成 30 年 7 月 23 日  
(一社) 山陰インバウンド機構

「山陰インバウンドセミナー ～日本版 DMO の役割と課題～」を開催しました

7 月 18 日に「山陰インバウンドセミナー～日本版 DMO の役割と課題～」を開催し、行政機関の観光課・観光団体・企業・個人参加など様々な業種の方が約 230 名参加されました。

セミナーは、第一部「基調講演」・第二部「パネルディスカッション」の二部形式で進行し、当機構では初めて会場参加型のアンケートシステム「respon」を導入して会場全体が一体となって意見交換を行いました。ご来場の皆様から頂いた多くのご意見は、地域で連携してインバウンド誘客を進めていく上での参考とさせていただきます。

- 1 開催日: 2018 年 7 月 18 日(水)13:00～16:30
- 2 開催場所: 米子コンベンションセンター 小ホール (鳥取県米子市末広町 294)
- 3 内容: 下記のとおり

1. 基調講演 ～地方創生の要として『稼ぐ』観光 DMO～

(株)日本政策投資銀行 地域企画部次長 中村郁博氏より、  
・長期的視野に基づき、持続可能な観光振興にするためには  
・共助による地域観光ビジネスの推進により、地域の一体感やアイデンティティの再構築に繋げること  
・磨き上げたい観光資源や、新規ビジネス創出を円滑に市場ニーズに合わせて再編するには  
など様々な観点から、全国の具体的事例を交えてお話いただきました。

2. パネルディスカッション ～観光パートナーシップによる『強い』連携～

ディスカッションに先立ち、当機構の代表理事及び山陰両県の地域 DMO(一社麒麟のまち観光局、鳥取中部観光推進機構、中海・宍道湖・大山圏域インバウンド機構)の事務局長から各 DMO の取り組み状況を報告し、ANA マーケティング室 観光アクション部 部長の藤崎氏からは、グローバル企業として自社のツーリズム産業への取り組みについて説明いただきました。

その後のパネルディスカッションでは、当機構で初めて会場参加型(QR コードを読み込みアンケート回答)の形式を取り、

- (1)各 DMO が認識する地域経営に関する課題について
- (2)「地域間の連携」と「住民との連携(関わり方)」の重要性について
- (3)山陰のインバウンド振興に関する課題について

の 3 つをメインテーマに会場のみなさまが一体となって議論を深めました。

※パネルディスカッションでは、(1)～(3)のテーマで設問を立て、会場の皆様に回答いただきました。設問に対する回答については別紙を参照ください。



中村講師による基調講演



パネルディスカッション時の会場の様子